

1 前提

該当する地域	県下全域
設定した経営規模	小ぎく10a、夏ぎく10a、秋ぎく20a、電照ぎく10a、スプレーギク10a
自家労働	2.5人
その他	

2 作付体系

年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目											△	◎
2年目						×	▽	◎	×		☪	☪

親株最終摘心 挿芽 定植 摘心 収穫

切下株移植

凡例：○播種、……育苗期間、△仮植、◎移植・定植、△ハウス、□トンネル、——栽培期間、□収穫

3 施設機械装備

但し R = (1 - 残存割合) (単位：円)

種類	構造能力	面積 台数	取得価額	本作目 負担率	負担価額 (A)	償却額 (B) (A)×R	耐用 年数 (C)	年償却額 (D) (B)÷(C)	経過 年数 (E)	期首現在 価額 (F) (A)-(D)×(E)	自己資本 割合 (G)	自己資本 利子 (F)×(G)×利率
作業場	木・瓦	50 m ²	3,055,500	17	509,250	509,250	15	33,950	8	237,650	100	9,506
ビニールハウス	6m×45m	4 棟	5,820,879	50	2,910,439	2,910,439	14	207,889	7	1,455,220	50	29,104
灌水ポンプ	400ℓ/分	1 台	171,200	17	28,533	28,533	7	4,076	4	12,229	100	489
管理機	3.5ps	1 台	197,400	17	32,900	32,900	7	4,700	4	14,100	100	564
背負式動力噴霧機	20ℓ	1 台	68,780	17	11,463	11,463	7	1,638	4	4,913	100	197
動力噴霧機	可搬式 6ps	1 台	281,880	17	46,980	46,980	7	6,712	4	20,134	100	805
トラクタ	4WD 20ps	1 台	1,805,760	17	300,960	300,960	7	42,994	4	128,983	50	2,580
ロータリ	160cm	1 台	475,200	17	79,200	79,200	7	11,314	4	33,943	50	679
下葉取り機	30~50本/分	1 台	189,288	17	31,548	31,548	8	3,944	4	15,774	100	631
電照施設		1 式	750,000	50	375,000	375,000	7	53,572	4	160,714	100	6,429
軽トラック	660cc、4WD、350kg積	1 台	1,050,000	17	175,000	175,000	4	43,750	2	87,500	100	3,500
合計			13,926,787		4,511,424	4,511,424		416,568		2,175,219		54,646

4 技術体系 (10a 当たり)

作物名	品 種	栽培様式・作型	10a 当たり収量	ほ 場 条 件	作付面積
スプレーギク	アイエンゼル (黄色) ゴールドトップ (黄色) タイハウケンザン (ピンク)	電照 (12月出荷)	36,000本	排水良好な水田転換畑	10a

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬~月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a 当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
親株床土壌消毒	11/下	カルビ [®] クリンくん蒸剤 古ビニール	1.5kg 100m ²	トラクタ・ロータリ 管理機 土壌消毒機 灌水ポンプ	○ハウス内に本ぼ10a あたり30~50m ² の親株床を作る。 ○適度な土壌水分状態で処理する。 ○処理後古ビニールで被覆しハウスを20日以上閉め切る。 ○消毒後はガスが抜けるまでていねいに耕耘する。	1.0 1.0 0.5	1.0	8.0	軽油 4.5 ガソリン 1.0 ガソリン 0.5
親株床準備	12/中	セルカ2号 花子	2.5kg 2.5kg	トラクタ・ロータリ	○セルカ2号と花子を50g/m ² 施す。 ○畦幅100cm 通路50cmの親株床を作る。	1.0	1.0	4.0	軽油 4.5
親株の移植	12/下~1/上			トラクタ・ロータリ 灌水ポンプ 人力	○採花時、開花揃いのよい株を親株として本圃10a あたり1,600~2,000株選定する。 ○切り下株を親株床に15×10cm間隔で移植する。	1.0 0.5	2.0	8.0	軽油 4.5 ガソリン 0.5
親株の管理	1/下~7/中	油かす	8kg	人力	○3月に油かすを100g/m ² 株元に施す。 ○冬至芽の草丈が10cm程度に伸びたら、基部の1~2節を残して摘心する。 ○挿し芽25日前の親株最終摘心まで随時摘心を繰り返し、草丈35cm以下で管理する。		2.0	16.0	
本圃土壌消毒	7/中	バスアミド微粒剤 古ビニール	30kg 1,000m ²	トラクタ・ロータリ 灌水ポンプ	○適度な土壌水分状態で処理する。 ○処理後古ビニールで被覆しハウスを閉め切る。 ○消毒後はガスが抜けるまでていねいに耕耘する。	7 3	1.0 1.0	8.0 6.0	ガソリン 7.0 軽油 13.5
挿 し 芽	8/上	オキシベロン液剤 162穴セル成型トレイ メトロミックス350 ポリフィルム 50%寒冷紗	40ml 150~160枚 11~12袋 (900 ^g 袋) 3m×35m 3m×70m	人力	○定植予定日の2週間前に挿し芽する。 ○挿し穂の折口にはオキシベロン2倍液を処理し、挿し芽床をポリフィルムで覆い、その上に寒冷紗をかける。 ○高温期の育苗なので寒冷紗は二重にかけてトンネル内の温度を下げる工夫をする。		2.0	40.0	
本 圃 準 備	8/中	堆肥 セルカ2号 BM重焼燐 ミネラル宝素 花子 フラワーネット 12cm×8穴 支柱パイプ 150cm	3000kg 150kg 50kg 100kg 50kg 700m 780本	トラクタ・ロータリ 灌水ポンプ 人力	○畦幅100cm 通路40~50cm ○灌水を十分に行う。 ○定植前にフラワーネットを張る。 ○支柱は2mおきに打ち込む。	6 1	2.0	20.0	軽油 13.5 ガソリン 1.0
定 植	8/下			人力	○定植日は、採花予定日から到花日数等を差し引いて決定する。 ○株間12cm、条間中抜き24cm、4条植えネットのマス目を目安に千鳥に植える。 定植苗数20,000~22,000本。		2.0	48.0	
電 照	8/下~10/中	電照設備 (21W電球型蛍光灯)	130灯		○定植と同時に深夜4時間電照する。 ○開花予定日から到花日数を逆算し、消灯日を決定する。		2.0	12.0	電気
摘 心	9/上			人力	○定植10~15日後、4~5節残して摘心する。		2.0	8.0	

技術体系

項目 作業名	耕 種 基 準			作 業 基 準					
	作業期間 (月/旬～月/旬)	使用資材名	使用量	作業機名	作業精度及び方法	10a当たり作業時間			燃 料 消費量 (ℓ/10a)
						機械利 用時間	組 人員	延労働 時 間	
整 枝	10/上			人力	○大きさのそろった芽を2～3本に整理する(45,000本/10a)。		2.0	30.0	
定植後の管理	9/中～12/上			人力	○フラワーネットは草丈の7割程度の高さに適宜引き上げる。 ○草丈50cmの頃、地上20cmまでの下葉をかき取る。		2.0	40.0	
除 草	8/下～11/下			人力	○適宜手取り除草する。		1.0	8.0	
灌 水	8/下～11/下	灌水チューブ一式		灌水ポンプ	○乾燥時適宜灌水する。	4	1.0	6.0	ガソリン 4.0
収穫・調製	12/中～下	ダンボール 輪ゴム クラフトテープ	360箱 18ヶ	軽トラック 下葉取り機 人力	○朝切り・水揚げを励行する。 ○採花時期を厳守する。	20	2.0	400.0	ガソリン 20.0 電気 100.0
病虫害防除	通年	ジェイエース粒剤 アルバリン顆粒水溶剤 カスケード乳剤 モスピラン水溶剤 アドマイヤーフロアブル ニッソラン水和剤 DDVP乳剤 ハチハチ乳剤 ジマンダイセンフロアブル ダコニール1000 サブロール乳剤 ストロビーフロアブル	9kg 105g 80ml 300g 87ml 85g 515ml 210ml 1,465ml 800ml 315ml 255ml	動力噴霧機 軽トラック	○白さび病、アブラムシ類、ダニ類、アザミウマ類が多発するので予防散布を徹底する。	44 27	2.0	55.0	ガソリン 44.0 ガソリン 27.0
合 計								717.0	

5 経営試算(10aあたり)

区分	科目	金額	説明	
粗収益	主産物価額③	1,800,000	生産量①：36,000本 単価②：50円/本	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	主産物価額	0	生産量： 単価：	
	副産物価額④	0		
	計 (A)	1,800,000		
生産原価	種 苗 費	52,500		
	肥 料 費	38,775	使用資材等は技術体系のとおり	
	農 薬 費	74,931	〃	
	諸 材 料 費	151,111	〃	
	動力光熱費	46,785		
	農 具 費	44,346	機械負担価額×4%	
	建物等修繕費	69,898	建物・構築物負担価額×1%	
	賃 料 料 金	0		
	共 済 掛 金	5,275		
	雇 用 労 賃	69,040		
	減価償却費⑤	416,568	別表のとおり	
	土地改良費	7,999		
	支払地代⑥	0		
	小計 (B)	977,227		
費	販売費一般	出荷資材費	87,695	
	管理費	販 売 諸 費	363,600	
		諸税負担金	5,657	農協賦課金、車検料、固定資産税
		事務研修費	9,412	農業新聞購読料、電話代
		支払利息⑦	16,181	借入資本利子率2%
		小計 (C)	482,545	
経 営 費 (D)	1,459,772	注) (D) = (B) + (C)		
家族労働費見積額 ⑧	833,950	農 従 労 働 時 間： 630.7 生産管理労働時間 10.8 1,300円/時間		
支払利子・地代算入生産費(E)	2,293,722	主産物単位当たり 64円/1本 注(E) = (D) + ⑧ - ④		
自己資本	流動資本利子⑨	37,219	注) ⑨ = ((E) - ⑤ - ⑦) / 2 × 0.04	
	固定資本利子	54,646	利子率4%	
利子(F)				
自 作 地 地 代 (G)	10,267			
全算入生産費 (H)	2,395,854	生産物単位当たり 67円/1本 注(H) = (E) + (F) + (G)		
所 得 (I)	340,228	時間当たり 530円 注(I) = (A) - (D)		
所 得 率 (J)	19	注(J) = (I) ÷ (A) × 100		
農企業利潤 (K)	-595,854	注(K) = ③ - (H)		
家族労働報酬 (L)	238,096	時間当たり 371円 注(L) = (I) - (F) - (G)		
農業資本利潤 (M)	-493,722	注(M) = (I) - ⑧		

6 労働の作業別、旬別配分(10a当たり時間)

月・旬	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			計	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下					
親株床土壌消毒																																		4.0	4.0			8.0
親株床準備																																				4.0		4.0
親株の移植	8.0																																				8.0	
親株の管理				2.0			4.0			2.0			2.0			2.0			4.0																		16.0	
本圃土壌消毒																			8.0	6.0																	14.0	
採穂・挿し芽																					40.0																40.0	
本圃準備																					20.0																20.0	
定植																								48.0													48.0	
電照																								12.0													12.0	
摘心																								8.0													8.0	
整枝																											30.0										30.0	
定植後の管理																										3.0		3.0		30.0		4.0					40.0	
除草																										4.0		2.0		2.0							8.0	
灌水																									1.0	1.0	1.0		1.0		1.0		1.0				6.0	
収穫・調製																																			250.0	150.0	400.0	
病虫害防除	1.0		1.0			1.0		1.0		1.0		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		3.0		3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	55.0
																																						0.0
																																						0.0
計	9.0	0.0	1.0	2.0	0.0	1.0	4.0	1.0	0.0	3.0	0.0	1.0	2.0	1.0	1.0	3.0	1.0	1.0	5.0	9.0	7.0	41.0	20.0	63.0	9.0	11.0	4.0	36.0	6.0	33.0	4.0	10.0	9.0	8.0	258.0	153.0	717.0	

生産管理労働時間

(10.8)